



この町を変えるのはあなたです

あっという間の4年間が過ぎて、町の運営を任せる次の人を決める時が近づいています。巷には真実と称する様々な情報が飛び交っていますが、判断材料はきちんとそろいましたか。昨今は新聞やテレビから流れてくる情報でも、全てが正しいとは限らないようです。フェイクニュースの氾濫は今に始まったことではないのですが、それらに対抗する自分なりの判断材料を揃える必要がありますね。

まず、財政事情は、ここにきて急に厳しくなったわけではありません。これまでに作り過ぎた箱物のせいで、据え置き期間の切れた起債(借金)の支払いが一気に始まり、おまけに合併時の飴玉だった交付税がH27年度以降、年ごとに大幅削減されています。おびたしい箱物の維持管理費増大と借金返済が始まり、追い打ちをかける交付税の減額までは全てあらかじめ分かっていた計画通りの事なのです。

この4年間で、既に建設が決まっていた魚島診療所、佐島廃棄物最終処分場の公共工事以外には箱物は作っていません。いきなフェリー新造船建造と防災無線に着手しただけです。

町の財政状況を表す様々な指標をよく見ると、ランニ

ングコストが異常に高いことがよくわかります。特に維持修繕や管理委託などが高止まりしており、制度システムの見直しが急務です。

長年の一社随契など、どうしてこのような制度が続いてきたのか不思議でなりません。NPOに自治体改善マネジメント研究会というのがありますが、一度ここに診断を仰いだ方が良いのではと考えています。

是々非々をもとに、削るところは削って充当するところは充当する、それが町の予算づくりの基本だと思えます。現在の財政状況を一気に改善することなどできるはずもありませんが、かつての久万高原町のように長期計画で取り組めば実現できるのです。そのためには、町民一人ひとりの理解が不可欠です。今、急がなければならぬものはなにか、どのレベルのものが必要なのか、次に必要なものはなにか…。そんなひとつひとつを役場任せにしないで、自分たちが声を上げ議論しながら進めていく、そんな町になればもうフェイクニュースの心配もないでしょう。

この町を変えるのはあなたです。しっかりと将来を見据えて責任ある行動を示してください。

上島町長 宮脇 馨

祝 生名フェリー新造船

「ゆめしま」進水式

7月23日(木)、尾道市向島町の神原造船(株)において、生名フェリー新造船「ゆめしま」の進水式が宮脇町長、池本議長をはじめ、町関係者や施工業者の出席のもと、執り行われました。

進水式では、宮脇町長が「ゆめしま」の船名を読み上げ、新造船の命名をおこなうと、船首両舷の幕が外され、船名の「ゆめしま」が現れ、大きな拍手に包まれました。

そして神事の後、船名「ゆめしま」の命名者の一人である弓削小学校6年生濱田里桜さんが支綱切断(船を繋ぐロープを斧で切断する儀式)を行うと、くす玉が割れ、船は勢い良く船台を滑り降り、無事進水しました。

進水式を終えて、宮脇町長は「岩城橋開通後の上島町の環境整備に向けて大きな一歩を踏み出しました。みなさんの足となってお役に立ち、町

に「ゆめ」を運ぶ船になってほしい。」と抱負を述べました。

「ゆめしま」は、全長48メートル、総トン数194トンで、旅客定員は150名となっており、現在運航中の「いきな」より一回り大きな船となります。

このあと、船内工事や試運転などを経て、9月下旬頃には立石〜長崎航路に就航予定です。



▲ 海上に浮かぶ「ゆめしま」



▲ 濱田里桜さんによる支綱切断



▲ 神事の様子



▲ 命名の様子



CONTENTS

広報かみじま
2020年9月号 第192号



今月の表紙
生名フェリー新造船「ゆめしま」進水式

- 2 町長の独白 / 目次
- 3 生名フェリー新造船「ゆめしま」進水式
- 4 上島町議会からの提言 (回答)
- 6 健康だより
- 8 役場各課紹介 / 島おこし協力隊活動報告
- 9 LETTERS FROM SCHOOL
- 10 ALTコーナー / 観光協会だより
- 11 上島の文芸 / KAMIJIMA KITCHEN
- 12 しまなみ農業だより
- 13 消防だより / 年金だより
- 14 お知らせ
- 20 上島町の生命の水「友愛の水」 町長宛の手紙 紹介
- 21 島々の話題
- 22 戸籍だより / 1歳の誕生日おめでとう
- 23 行事カレンダー / 潮汐表 / 潮湯だより
- 24 KAMIJIMA SNAP